

岩崎弥太郎②

一龍斎貞花

講談師

日本が新時代へと歩み始めた明治2年1月、岩崎弥太郎は大阪土佐商会の責任者に就任。幕末の混乱ようやく納まったものの、各藩とも藩体制の確立に苦慮し、土佐藩でも藩札を乱発し物価高騰、藩札の信用は下落。正規の金額を要求するも支払い出来ず、遂に暴動が起きる有様。

「少しでも金がほしいだろう、額面通りの金は払えんが、安くてもよければ買ってやる」と、どんどん安く買い集め、その後藩札交換の時正価で売り渡し巨額の差益を得た。正に武士から商人へとたくましく成長していったのです。

外国商人だけでなく、大阪の豪商とも積極的に取引を行い、さらには他藩の貿易代行や、海運業により業績を伸ばす。明治3年、明治政府は“各藩の商業活動は、民間会社の育成を阻むため蔵屋敷禁止”を通達。土佐は儲かっている土佐商

会存続のため藩会計から分離し、岩崎は責任者として九十九商会と改称し個人商社のように見せかけ主力は海運業。

その後廃藩置県で藩が消滅し、川田、石川、中川の3人に経営をまかせ3人の川から三川商会としたが、経営がうまくいかず明治6年三菱商会と改称し、川田、石川、中川の3人は番頭となり、岩崎がトップに復帰、ここに岩崎経営の個人商社三菱商会誕生。うまいこと土佐藩のものを自分のものにしたなどといわれているが、それに違いないが、自分でしたのではなく藩消滅のおかげで転がり込んできたのであった。他の人が責任者だったらその人のところへ転がり込んだはず。時代の変転から大変な棚ぼただったわけ。

国内には海運業が多数存在していたが、長崎時代から外国商人に絶大な信用があり、その人脈を活かして資金の調達や取引を行い、幕末のように藩から無理な注文や、取引を強要されることなく、自由に経営が出来、海運業は多大な利益を上げ、期日までにきちんと借金を返済し資金調達も順調。明治5年政府は、外国の汽船会社に勝つため、三井、鴻池、島田、小野などの政商と図り、日本国郵便蒸気船会社を設立、政府の支援を受けた巨大な海運会社とあって太刀打ちは困難。

商人に徹する

「このままでは我社は到底戦うことはむつかしい、いいか皆んな士族であったこ

とを忘れるんだ。全員前垂れを諦めること、商人に徹すること、お客様に丁重に接っすることが第一だ」弥太郎も終生和服で通します。

ところが重役の石川だけは、武士の気風が抜けず、お得意様にも頭が下げられない、そこで扇子に小判の絵を描き、「この扇子をやる、客に頭を下げなければいけない時には、この扇子を開き、小判にお辞儀すればよい」こうして石川も頭を下げる事が出来るようになっていった。社員は生き生きとして働き、お客様にも懇切丁寧に対応する。

一方の日本国汽船会社は半官半民とあって、客に応柄で労働意欲に欠けるものの、政府の年貢米の輸送をしているので経営は成り立っている。三菱の方は必死です。すると租税の改正により税はお金で納めるのみとなり、日本国汽船会社は年貢米を運ぶ最大の仕事がなくなり、さらに小野組の倒産で40万円の倒産損害金の支払などで、半官半民の会社も大重^{おおむらわ}。明治4年、台湾に漂着した琉球（沖縄）の漁師54人が台湾住民に殺され、そのあつれきから明治7年台湾出兵。物資輸送を命ぜられた日本国汽船会社は「引き受ければ、その間に国内の海運契約は三菱にもっていかれてしまう」と拒否。大隈重信大蔵大臣は「政府が出資しているのになんたることだ」と、かんかんに怒り、「岩崎さん頼む」「ご命令喜んでお受け致します。力を尽くしてお国のために働か

せて頂きます」と快諾。

政府の船13隻も貸与され、無事輸送を果たし膨大な輸送費ばかりか政府の信頼を得、13隻無償で下げ渡された上、日本国会社は解散を命ぜられ、三菱商会は45隻余の船を有する日本一の海運会社に発展。棚ぼた式に次から次へと運がいいとか、ついているとか。それも決断あったればこそ運を呼びこんだのです。明治10年、洋式複式簿記や、船の減価償却導入など三菱会社簿記法制定。

勤務は、陸上8時～16時、日曜休日、皆勤者には年末賞与支給など社則を制定。当時としては実に斬新なものでした。

決裁は社長岩崎に仰ぎ、利益も損失も責任は総て弥太郎のワンマン経営。

これは坂本龍馬の海援隊独裁経営にならったものといわれている。但し利益は自分のものといいながら私腹を肥やすための経営はしませんでした。

福沢諭吉も、「岩崎氏は噂に聞くのとは大違い、商人道に徹し成功間違いなし」と評価。2人は親交を深め、岩崎は慶応義塾卒業生を多く採用し、海運業の他、鉱山、造船、倉庫、水道、為替、製紙、保険と事業を拡大し商社へと発展。

しかしそのまま順調ではありませんでした。強大な英国の汽船会社、さらには日本海軍の一組織ともいべき財界の大立物出資の大汽船会社を向こうに廻しての存亡をかけての対決は次号のお楽しみ。